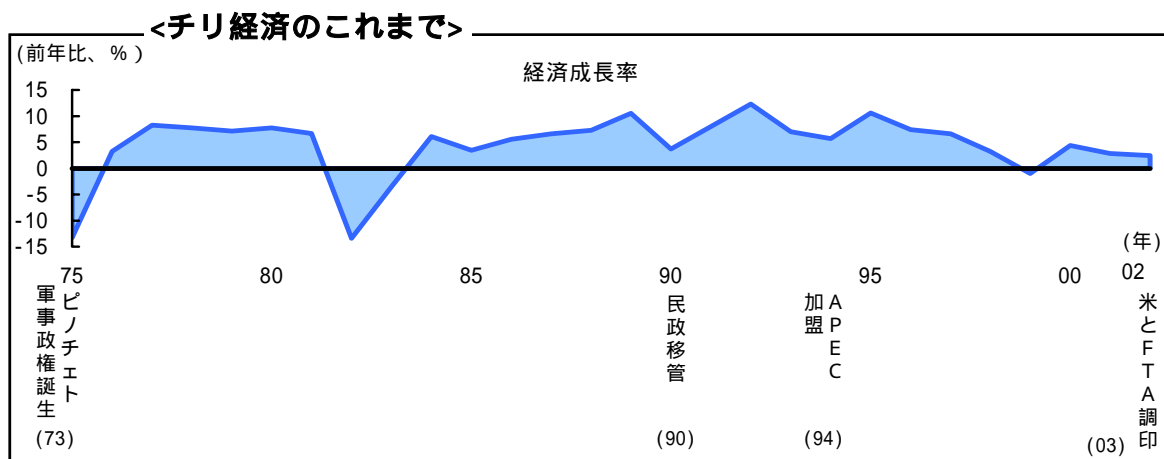


# 23 チリ

# Republic of Chile

<2002年>

人口	1,561 万人 (日本の約1/8)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	4,255 ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 5.2 % 2次産業 37.3 % 3次産業 57.5 %	通貨	ペソ 1米ドル = 689ペソ
		面積	75.7万km <sup>2</sup> (日本の約2倍)



## チリの主要経済指標

		92～01年		2002年		2003年		2004年		民間機関
						中央銀行	I M F	中央銀行	I M F	
実質GDP	前年比%	5.9	2.1	3.0～3.5	3.3	4.0～5.0	4.5	実質GDP		
鉱工業生産	同上	3.5	2.3	-	-	-	-	2003年		
消費者物価	同上	7.7	2.5	3.2	3.4	2.4	3.0	平均	3.3	
失業率	%	7.5	9.0	-	-	-	-	最大	3.6	
経常収支	億米ドル	19.0	5.5	-	-	-	-	最小	3.2	
(GDP比)	%	( 2.8)	( 0.8)	( 0.5)	( 1.0)	( 0.7)	( 1.2)	2004年		
財政収支	億米ドル	5.7	5.3	-	-	-	-	平均	4.6	
(GDP比、年度)	%	( 0.9)	( 0.8)	-	-	-	-	最大	4.7	
政府債務残高	億米ドル	113.8	102.3	-	-	-	-	最小	4.5	
(GDP比、年度末)	%	( 18.8)	( 15.4)	-	-	-	-	( 3社)		

(備考) チリ中央銀行、チリ国家統計局、チリ大蔵省、I M F "International Financial Statistics"。見通しの中央銀行は金融政策情報(I P O M、2003年9月)、I M Fは"World Economic Outlook"(2003年9月)。

## <2003～2004年の経済>

2003年前半の経済成長率は、国内需要の高まりから前年同期比3%程度となった。年後半も国内需要が引き続き堅調に推移し、また世界経済の回復などから輸出も増加するとみられ、2003年全体では、3%程度の成長が見込まれる(政府見通し3.0～3.5%、I M F見通し3.3%、民間機関3社平均見通し3.3%)。政府見通し、民間見通しは、春時点よりもやや下方修正された。

2004年は、4%程度の経済成長率が見込まれている(政府見通し4.0～5.0%、I M F見通し4.5%、民間機関3社平均見通し4.6%)。下方リスクとしては、アルゼンチン、ブラジル等近隣諸国やアメリカ等の経済回復の遅れや、石油価格の上昇等があり、その場合には貿易を通じて経済の失速につながりかねない。また、失業率、物価上昇率の高まりなどが今後の動向に悪影響を及ぼす可能性もある。